

教育目標 **進んで学ぶ子 思いやりのある子 心と体をきたえる子**

**確かな学力をもち、  
学び合う子ども**

**【まなび (知育)】**

- 算数における授業改善
  - ・分かる、できるようになる授業の工夫
  - ・子ども同士で問い直したり、説明を求めたりしながら思考力、判断力、表現力を高める場の設定
- 家庭学習の習慣化
  - ・10分間の白鳥タイム(家庭学習の計画を立てる時間)の設定
- 読む力の育成
  - ・朝読書や、朝学習での、「読む」「書く」活動の設定

**自他のよさを認め合う  
子ども**

**【こころ (徳育)】**

- 自他共によりよく生きようとする生活指導の実施
  - ・生活目標についての自己評価の実施
- 全校一斉SSE(ソーシャルスキル教育)で学習したソーシャルスキルの活用
  - ・全校一斉 SSE の実施とスキル活用場面の設定
- 望ましい人間関係づくり
  - ・縦割り班活動を核とした、異学年集団の活動の充実
- 一人ひとりの児童理解
  - ・担任と児童による個別面談「ふれあいデー」の定期的な設定

**運動に親しみ、健康や体力を  
高める子ども**

**【けんこう (体育)】**

- 運動の基礎となる走る力の向上
  - ・長座体前屈と立ち幅跳びの複数回計測
- 健康な心身を目指した給食指導の実施
  - ・阿賀野市産の食材を使った給食、食に関する指導の充実
- 健康な心身を目指した保健指導の充実
  - ・メディアコントロールデーなどによる平日のテレビやゲーム時間の改善

**全校の特別支援教育の充実**

- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備、充実。
- 一人一人の教育的ニーズに応え、可能性と個性を伸ばす取組。
- 個に応じたきめ細かい指導計画を基にした、適切な指導及び支援の充実。
- 教職員の専門性を高める研修や保護者や関係機関との連携の充実。
- 特別支援コーディネーターを中心とした特別支援教育への理解を深め、助け合い、支え合う心の育成。

保護者・地域と力を合わせる (双方向の連携と参画の推進)

- 「ふるさと水原について知り、ふるさと水原を語り、ふるさと水原を誇る子ども」の育成
  - ・瓢湖を核とした学習活動の推進(総合的な学習、生活科、その他各教科・領域)
  - ・ふるさと水原のよさを学ぶ活動の充実
  - ・教育活動へのボランティア等、ふるさとへの貢献活動、地域の方々の参画
- リーフレット「学校生活の充実のために」の活用
  - ・全職員による同一歩調の指導
  - ・リーフレット配布による家庭への協力依頼
- 開かれた学校の推進
  - ・学校だより「おかやま」の地域への回覧(月2回の発行)
  - ・平均月1回以上の行事・学習参観日の設定
  - ・保護者や地域も参加する「運動会」「わくわくタウン水小」の実施
  - ・「保護者アンケート」の実施(7月・12月の年間2回)
  - ・保護者、地域、関係機関と共に取り組む安全な学校環境づくり
  - ・学校の諸課題や改善策を協議する学校説明会の実施

